



平成21年 6月 9日

各 医 師 会

感染症危機管理担当理事 殿

福 岡 県 医 師 会

感染症危機管理担当理事

原 口 宏 之

(公 印 省 略)

新型インフルエンザ県内一例目と福岡市集団感染との関連について

粕屋郡から報告がございました県内1例目の新型インフルエンザ症例と現在の福岡市の集団感染との関連性につきまして、本日、福岡県が別添のとおり記者発表を行いましたのでお知らせいたします。

一連のウイルス遺伝子は同様の配列であること、神戸市のものとは異なっていることが判明し、一例目の患者が、今回の集団感染の感染源である可能性が高いと判断されております。

小郡三井医師会より

感染症対策担当理事 毛利康茂
新型インフルエンザ対策委員会
会長 丸山 泉

新型インフルエンザ県内一例目と福岡市集団感染との 関連について

福岡県内一例目と福岡市の集団感染について地域的及び時期的に近接していることから、その関連性を見るため、福岡県保健環境研究所に保存している福岡県一例目のウイルスと福岡市中学生のウイルスについて遺伝子配列の検査を行いました。

その結果、同様の配列であること。かつ、この遺伝子配列は、神戸のものとは異なっていることが判明しました。

また、現時点における福岡市の感染児童生徒に対する聞き取り検査では、海外渡航歴等のある人はいませんでした。

これらを考え合わせると、一例目の患者が集団感染事例の感染源である可能性が高いと判断したところです。

なお、一例目の患者と福岡市の事例の接触点は明らかでなく、今後の疫学調査の結果を待つ必要があることから、現時点ではあくまで可能性として報告するものです。